

DX推進の取組み

2026年4月

1. 代表メッセージ

- 「DX＝デジタルトランスフォーメーション」の急激な進展は、ますます加速しています。AIやビッグデータ、IoT等の技術活用により、従来の単なるデジタル化による効率化や業務改善とは全く異なるビジネスモデルの創出が次々に実現しています。
- 第四北越ITソリューションズは、この急激な環境変化にIT技術を使って対応すべく、「DX」への取組みを強化・推進してまいります。
- DXを推進し、業務効率化・生産性向上・AI・データ活用など、変化に果敢に挑戦し新たな価値を創造してまいります。
- 第四北越フィナンシャルグループのグループ会社である当社は、第四北越フィナンシャルグループと連携し、お客さまの期待に応えるDXサービスを提供し、地域社会の発展に貢献し続けます。

株式会社 第四北越ITソリューションズ
代表取締役社長 原 重敏

2. DX推進ビジョン

- 当社は1970年(昭和45年)創業のIT企業で、以下の経営理念でIT製品販売、ソフトウェア開発などに取り組んでまいりました。
【経営理念】 1.健全経営により社会に貢献する。
2.社員に働く喜びを持たせ、質の高い社会人を育成する。
3.お客さまに満足していただけるサービスを提供する。
- 近年の少子高齢化による生産年齢人口の減少は著しいものがあり、今までと同じやり方を続けることさえも難しく、DXなしでは対応できなくなることが予想されています。
- 当社はこの状況を解決するために、以下のDX推進ビジョンを掲げ、地域社会の発展に貢献し続けます。
 - ①データドリブンによる意思決定のスピードアップと、DXを活用し業務効率化・生産性向上を推進します。
 - ②積極的にDXを活用し、課題解決と新たなビジネスモデルの創生を目指します。
 - ③第四北越フィナンシャルグループと連携し、お客さまへ最適なDXサービスを提供できる技術力（広域な知識・先進技術・遂行能力）で、地域社会の発展に貢献し続けます。

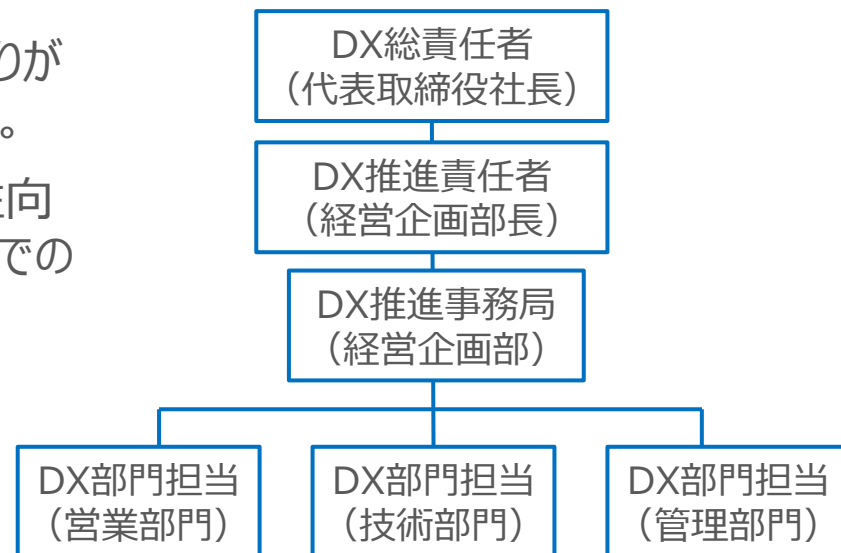
3. DX推進戦略

- **「データドリブンによる意思決定」**
社内にある各種システム・データを一元化した統合データベースの構築・活用
(売上・会計、受注・販売、SFA・顧客管理、人事・給与、原価管理など)
- **「業務効率化、生産性向上」**
SFAなどITツール活用による営業活動の効率化・高度化
(見積から売上まで、一気通貫で管理)
生成AI活用による労働生産性の向上
ペーパーレス化によるバックオフィス業務の改革
- **「DX人材の育成」**
ITコーディネーター、プロジェクトマネジャー(PMP)の育成
AWS等のクラウド技術の習得
各種資格取得への支援
(各種の受験料補助、資格褒賞金の支給、社内図書館の充実)
- **「第四北越フィナンシャルグループと連携した、地域社会のDX推進」**
第四北越フィナンシャルグループからの紹介案件を中心に、地域社会のDX推進

4. DX推進体制

- DX戦略を推進するため、経営トップを総責任者とした「DX推進PT」を立ち上げ、DX推進の実現に向けて活動していきます。
- 「DX推進PT」のメンバーは、経営企画部と各部門（営業、技術、管理）から選出したDX部門担当で構成します。
- DX部門担当（営業、技術、管理）は、各部門の代表者として全社最適化の視点でDX実現に向けて活動していきます。
- DXに必要な知識とスキルを共有し、一人ひとりが「自分毎」としてDX推進に取り組んでいきます。
- また、第四北越フィナンシャルグループ「生産性向上・DX推進委員会」に参加し、グループ一体でのDX推進に取り組んでいきます。

【DX推進PT 体制図】



5. DX人材育成

DX人材を育成するため、以下に取り組めます。

- **ITコーディネーター、プロジェクトマネジャー(PMP)の育成**
ITコーディネータ 2025年度新規合格者（目標：9名）
プロジェクトマネジャー（PMP） 2025年度新規合格者（目標：3名）
- **クラウドサービス・生成AIなどの技術習得に向けた、資格取得の推奨**
AWS 認定資格、Microsoft Azure 認定資格、OCI 認定資格(オラクル社)
生成 AI パスポート資格、G 検定資格
- **各種資格取得への支援**
各種の受験料補助（同一資格に対して2回まで会社側で負担）
資格褒賞金の支給（難易度に応じて試験合格時に支給、資格取得キャンペーン実施）
社内図書館の充実（ビジネス書、技術関係、資格関係など）

6. DX環境（IT環境）の整備

- **IT・ネットワーク基盤の整備**

クラウドサービス利用を前提とした、IT・ネットワーク環境を整備・強化していきます。
セキュリティを最優先とした、拡張性・柔軟性の高いIT・ネットワーク基盤を維持・運用していきます。

- **クラウドサービスなどの最新技術の導入**

クラウドサービス利用による業務効率化を見据え、各種クラウドサービスとの連携を積極的に活用し、労働生産性の向上に取り組んでいきます。

- **生成AI活用環境の整備・強化**

チャットによる調査、議事録作成、プログラム作成、社内規程の検索(RAG活用) など労働生産性向上につながる生成AI環境の整備・強化に取り組んでいきます。

- **データドリブン経営に向けたデータベースの構築**

各システムが保有するデータを一元管理するデータベースを構築し、経営の意思決定に活用していきます。

7. DX推進指標

- **労働生産性の向上**
売上総利益÷総労働時間 (前年比 5%up)
- **DX人材の育成**
ITコーディネータ (新規合格者数 9名/年間)
プロジェクトマネジャー(PMP) (新規合格者数 3名/年間)
- **IT・ネットワーク基盤の整備・強化**
テレワーク接続方式の変更(VPN廃止) (2026年3月)
ファイルサーバのクラウド移行 (2026年6月)
クラウドサービス利用時の認証強化 (2026年9月)
(デバイス証明書を利用したシングルサインオンの導入)
- **データドリブン経営に向けたデータベースの構築**
データベースの設計・構築 (2026年7月)
データベースへのデータ登録・移行 (2026年9月)
テスト運用開始 (2026年10月～)